

地域連携センター便り



上越総合病院 地域連携センター

〒943-8507 上越市大道福田148-1 TEL・FAX 025-524-3140(直通)

<http://renkei@joetsu-hp.jp> 新年号 (2011.1)

新年のご挨拶



病院長 外山 譲二



新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当院も、平成18年4月に新築移転をして、この3月には早くも5年が経過しようとしております。100床以上の増床と、それに伴う医師や、看護師などの急激な増員の中、あわただしくあっという間に時間が過ぎ去ったように思います。

病院の規模の拡大に伴い、多くの内部構造改革に取り組んでまいりました。医師は3倍、看護師は2倍近くに増えましたが、なお看護師や専門職の不足が深刻な問題となっております。そのため、地域連携、病診連携の機能において、いまだ行き届かない点が多々ございますが、どうぞお許しください。当院は、新築後5年は経過したものの、いまだ発展途上であり、今後さらに内部の機能の見直しを図り、皆様方にご迷惑にならないように努力する所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

5年前の新築時には、地域に貢献する病院をめざし、以下の3つの目標を掲げました。第1は、救急災害対策であり、ヘリポートやドクターカーを備え、救急患者も急増いたしました。本年10月にはICUを増設し、さらにER体制の充実を図ります。第2は少子高齢化対策です。少子化対策としては、小児科医、産婦人科医を倍増して、周産期医療、新生児医療の充実を図りました。さらに今年、不妊内分泌センターを移設増設予定です。高齢化対策としては、地元JAとの連携で高齢者福祉事業を拡大してきました。昨年7月には、100床の介護老人保健施設「アルカディア上越」をオープンしました。病院併設の利点を生かして、経管栄養をはじめ重症患者さんも区別せずにお引き受けしたいと思っております。第3は、予防医学です。本年2月には新しい健診センターへ移設予定ですが、拡大する人間ドックの需要に応えるだけでなく、癌の早期発見や将来の遺伝子診断など、診断技術の向上に努めます。

以上の3つの目標については、いまだ道半ばとはいえ、一定の成果をあげてきたものと考えております。しかしながら、わが国の死亡原因の圧倒的多数が「がん」となっており、癌治療の問題は避けて通れなくなってきました。そこで、当院では一昨年の4月に、癌治療棟を増築して、国内最高水準の放射線がん治療器2台を導入しました。これまでのところ連日多数の治療を行い、りっぱな成績を上げております。さらに今年、世界初、最高レベルの「動体追尾」(呼吸移動にも自動で対応)照射を始める予定ですが、これが成功するとこれまで治療不能であった患者さんにも光があたることとなります。がん治療については、本年10月には、24床の外来化学療法センターを開設する予定です。これに伴い、外科系、内科系を問わず癌の専門医をさらに増員したいと考えております。

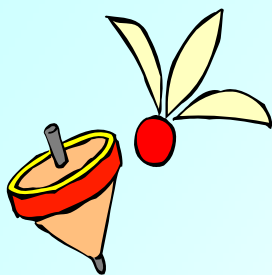
4つ目の目標に「癌」の診断と治療を加え、さらに地域の皆様方のお役に立てるような病院作りに、いっそうの研鑽を深めて行く所存でございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは

地域連携センター

TEL・FAX025-524-3140まで





事務長 高橋 茂



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。平成18年4月に上越市大道福田の地に移転新築し、5年が経過しようとしています。

昨年7月には、病院併設の介護老人保健施設「アルカディア上越」を開所いたしました。同施設内には訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所を設置し、在宅介護のサポートも併せて行える拠点施設となりました。

本年2月には健診センターを移設し、要望の多い人間ドックの需要に対応いたします。

さらに10月には救急病棟(10床)を新たに開設し、救急体制の充実を図ります。また、同時期に不妊内分泌センターや外来化学療法センターを開設する予定であります。

移転新築時当初の目標とした①救急災害対策②少子高齢化対策③予防医学に加え、さらに死亡原因第1位の「がん」対策の充実を図ってまいりたいと思ひます。

これからも、地域の皆様のご要望に応えるよう精一杯努力する所存でございます。

本年もご支援賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

看護部長 佐藤 順子



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、老人保健施設アルカディア上越の開設、DPC病棟の拡大等、医療・介護を含め大変ご支援いただき感謝申し上げます。

今年は、念願でありました救急病棟10床が、10月開設予定です。

今まで救急でこられた患者さんは、昼夜問わず一般病棟への入院でしたが、救急外来に隣接したこの病棟に入院します。現在最新の医療機器の整備と体制について準備を進めています。

また、がん化学療法も専用の部屋で受けることが出来る設備となります。

今年で新築以来の整備が終了します。

より地域の皆様に安心して安全な医療・看護を提供できるよう努力してまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは

地域連携センター

TEL・FAX025-524-3140まで



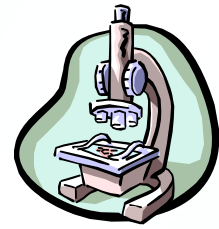
最新鋭・放射線治療の現状

～稼動から1年経過して～



放射線治療科・部長

江部 和勇



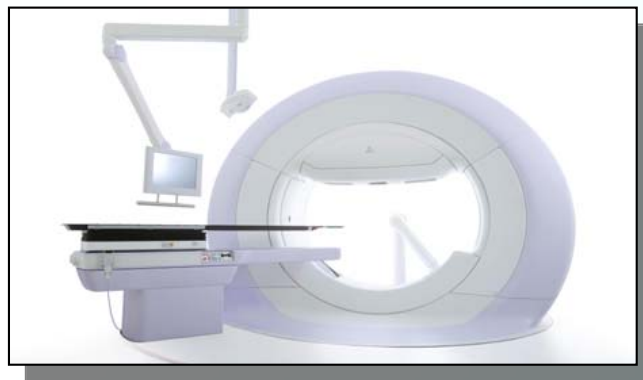
当院では、放射線治療装置2台が稼動してから約1年が経過しました。そこで、過去1年間に振り返って、診療実績を以下に述べます。

ご紹介頂いた患者数は、159例、装置別での患者数は、専用機(MHI-TM2000):66例、汎用機(VarianClinac iX):93例でした。治療法別の内訳は、2台合計で、頭頸部IMRT:1例、前立腺IMRT:72例、頭頸部定位照射:13例、肺定位照射:4例、肝定位照射:3例、標準的分割照射:68例でした。診療開始から約1年経過して、ほぼ全身臓器に対する放射線治療が可能な状態となりました。また半数以上の症例に、IMRTや定位照射が実施されました。詳細な治療効果については今後の検討課題ですが、印象としては概ね良好でした。

また、特に事故もなく、安全に診療が行われました。過去の放射線治療を経験してきた筆者にとって、副作用が激減したという印象を肌身に感じています。今後は、現状の静体への照射から動体追尾照射へのシステム・アップを検討しています。

各施設様からのご紹介に際しては、手続き上、あらかじめ当院・地域連携センターにご一報いただきますようお願い申し上げます。

ご紹介を心よりお待ち申し上げます。



MHI-TM2000

お知らせ

整形外科の診療体制について

- 完全予約制ですので当日受診はできません。
- 受診希望の患者様につきましては、お手数でも連携センターにご連絡をお願いします。

何卒、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

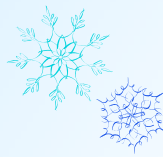


医療機関様からの
ご紹介のお問い合わせは

地域連携センター
TEL・FAX 025-524-3140まで



最近の話題



リハビリテーション科 横田 剛

当院リハビリテーション科では、集団活動を取り入れています。

平成18年度医療改定により、リハビリテーションは「疾患別リハビリテーション料」に変更され、個別に行うこととされました。(その後、言語聴覚療法のみ集団が認められました)

診療報酬の規定に従い、個別リハビリテーションを提供してまいりましたが、本当にこれでよいのか？との疑問がありました。

完全に治癒する疾患であれば個別に行うリハビリテーションのみで十分でしょうが、進行性の疾患や多大なる後遺症が残る疾患の方々には、ピアサポートの意味からも集団活動が必要だと思うのです。

その意味において、昨年からはじめた「難病リハビリテーション」は当院リハビリテーション科において一つの転機になりました。

若いスタッフはそもそも集団活動としてのリハビリテーション経験がそもそも無かったので、良いトレーニングになり、またその必要性を肌で感じる事が出来たようです。

現在は「作業療法士」が中心となり、脳卒中疾患患者などを中心に集団活動に取り組んでいます。集団活動そのものは診療報酬上認められないので、個別と併用してなんとかのいですが、患者様には非常に好評です。

次回の改定で集団活動を算定できるようになることを希望しておりますが、果たしてどうなることやら先行きは不透明です。何とか認められることを患者様と共に祈っています。



医療機関様からのご紹介のお問い合わせは
地域連携センター

TEL・FAX025-524-3140まで



上越総合病院 診療科 担当医師

平成23年1月1日現在

内科	呼吸器	外山讓二
	呼吸器	諸橋数昭
	呼吸器	清水崇
	呼吸器	岡島正明
	消化器	武井伸一
	消化器	小野知巳
	消化器	古川真一
	腎・糖尿病	亀田茂美
循環器内科	腎・糖尿病	小川麻
		箆島充
		阿部直之
神経内科		吉江幸司
		福原信義隆
小児科		鈴木木
		上村孝則
		土谷修一
外科		城山照貴
		本間憲治
		藤田亘浩
		小出則彦
脳神経外科		宮澤智徳
		江塚勇明
産婦人科		荒川泰明
	不妊内分泌外来	相田浩
		菅谷進
		廣井威
	本間梨沙	
耳鼻咽喉科		坪田雅仁
眼科		佐藤昭一
整形外科		松本峰雄
皮膚科		土屋和夫
泌尿器科		里見定信
救急科		丸山正則
放射線治療科		江部和勇
病理検査科		巻淵隆夫
歯科		畑秀一
		服部ふみ

今年もまたたくさんの雪が降りました。寒い日が続いてますが、風邪をひかないよう、元気に過ごしたいと思います。



編集後記

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは
地域連携センター

TEL・FAX 025-524-3140まで

